

ほっと

ボランティア

高校生からひとり暮らし高齢者に

優しさの花ふきんをプレゼント

1月17日に中津商業高等学校の中津商業家庭クラブが作成した刺し子の花ふきん200枚を、西地区民生委員児童委員協議会並木敏金会長を通じて、西地区のひとり暮らし高齢者に寄贈しました。

並木会長とひとり暮らし高齢者のお宅に訪問し「花ふきん」と「人生の先輩へ」というメッセージをプレゼントしました。花ふきんは生徒が家庭科の時間を利用して作ったもので、10時間かけて一針一針丁寧に刺し子がされています。

花ふきんを受け取った方は「生徒の手作りした花ふきんは一つ一つ違って個性が毎年楽しみにしています」と話してみえました。



▲並木会長に花ふきんを贈呈



▶ひとり暮らし高齢者のお宅へ届けました。



助成金により

要約筆記ボランティア活動機材を購入

登録ボランティアの中津川要約筆記サークルでこぶしが、競輪・オートレース売り上げ金による(財)車輛競技公益資金記念財団の助成金を受けOA機器を購入しました。

会員は「助成金による機材購入により、充実した講習会を実施することができました。また、今後の活動をより一層充実させることができるので有難い」と話しました。



▲しでこぶしの活動の様子

一宮市と中津川市の

ボラ連協が情報交換

2月8日に愛知県一宮市木曾川のボランティア連絡協議会(ボラ連協)の会員25人が中津川市社会福祉協議会登録ボランティア連絡協議会の視察にみえました。

お互いの活動に関する情報や意見の交換を熱心に行いました。

特に、木曾川のボランティア団体には男性が少ないということがあり、男性のボランティア参加についての話題が中心となりました。



▲ボラ連協の視察交流の様子

つながる・ひろがる

ボランティア団体

紹介コーナー



「音訳ボランティアひばり会」

(発足H11・6・30 会員数8人)

音訳とは、文字を音にすることです。現在の主な活動は、視覚障がいのある方に、地元の情報紙「さかしたタイムズ」を読みテープに録音して、ご自宅へ発送する事です。

月に一度のこの活動は、出席した会員の人数にページをブロック分けする打合せ、下調べ、読みの練習、そして録音という順序でテープを作っていきます。

聞いて下さる方々に、聞きやすくわかりやすく情報をお伝えできるよう心がけて頑張っています。これからの活動として、民話なども録音していきたいと考えています。



視覚障がい者の方だけではなく、音訳テープを聞いてみたい方、又音訳ボランティア活動に関心のある方を募集していますのでご連絡下さい。

社協坂下支所

☎(0573) 75・5566

お待ち
しています



社協登録ボランティアが集うボランティア交流会を開催

2月26日に中津川市健康福祉会館で中津川市社会福祉協議会と登録ボランティア連絡協議会の主催で、平成22年度ボランティア交流会を開催し、登録ボランティア28団体や坂下高等学校の生徒など110人が参加しました。

“住み良い地域・環境をつくるために”をテーマに、講演と事例発表、意見交換を行いました。

講演



講演では、特定非営利活動法人 藤前干潟を守る会副理事長 亀井浩次さんを招き生物共生における環境保全の重要性についてお話をさせていただきました。

事例発表



事例発表では三菱電機株式会社中津川製作所ボランティアクラブ（MVCクラブ）事務局坂巻昇さんに森林保全活動や「森のめぐみ塾」についてお話いただきました。中津川市障がい者就労支援事業所ふくおか協力ボランティアの青山道郎さんに障がい者就労支援事業所でのアルミ缶リサイクル活動についてお話をいただきました。

グループワーク



グループワークでは「日々の生活の中にゴミの清掃など環境の為にできることもあるが、ボランティアとしては人と人とのつながりを大切に、一人できれないことを皆で行うことで生活環境を守ることができないのではないか。だからこそ、今後もボランティア同士が協力し合い、沢山の人を巻き込み発展することが不可欠である。」などの感想がありました。

アトラクション



▲川上地区のアマチュアバンド「竜神JBバンド」によるカッコいい演奏を楽しみました



▲参加した坂下高校の生徒とボランティアのみなさん

福祉ボランティアに関することは
社協地域福祉課にお気軽に
ご連絡ください
06-11111(内638)